

災害リハビリテーション支援のための生活機能トリアージ・災害診療記録アプリケーションシステム開発に向けた研究

広島大学 三上 幸夫（2025年度～2026年度）

研究開発目的

本研究では、大規模災害時の被災者の生活機能低下や災害関連死を予防するために、速やかに生活機能の低下を把握できる災害診療記録アプリケーションの開発を行う。さらに、作成したアプリケーションシステムの社会実証実験を行う。

取り組み

文献検索による質的レビューによって生活機能トリアージ項目の整理・分析と災害診療記録（生活機能版）案を作成し、他の災害医療チームと共にRAND/UCLA Delphi法を用いた横断調査によって、生活機能トリアージ項目と災害診療記録（生活機能版）を完成した。これらの結果を踏まえ、災害診療記録アプリケーションシステムを作成し、作成したアプリケーションを令和8年熊本地震において実装した。得られたデータを分析し、アプリの実行可能性や有用性の検証を行う。

成果

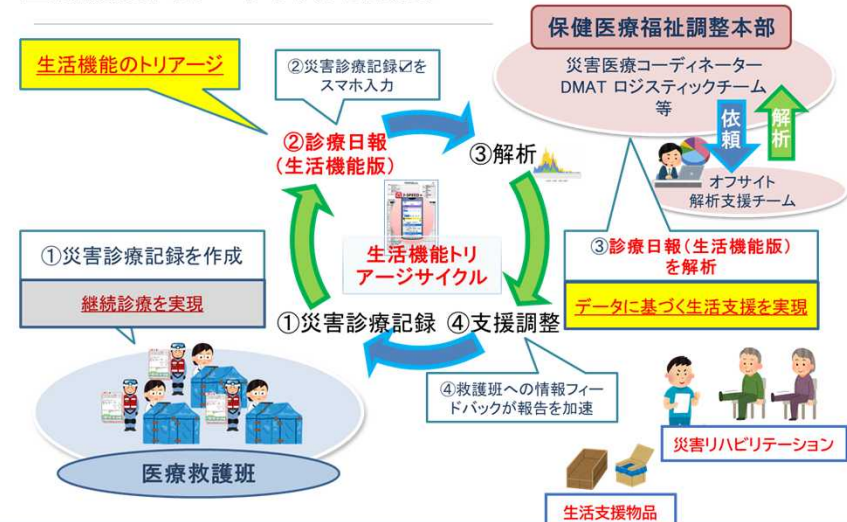
本研究により得られた知見を基に、令和8年熊本地震においてアプリケーションシステムを実装した。

今後の展開

令和8年熊本地震においてのデータ取得支援等を継続し、得られたデータを分析することで、アプリの実行可能性や有用性の検証を行う。また、実際に使用したJRAT隊員へのアンケート調査も行う。

本研究により達成したいこと

生活機能トリアージシステム概要



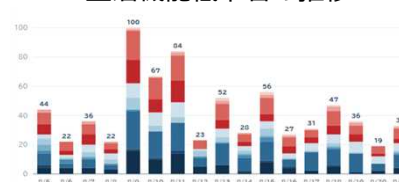
令和8年熊本地震におけるJ-SPEEDアプリ実装状況

• J-SPEEDの災害現場での運用



• J-SPEED集計データ

生活機能低下者の推移



対応内容の内訳

